

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学皮膚科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年10月

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 山本俊幸

研究課題名

結節性紅斑における原因疾患の変遷を含めた検討

研究期間

2024年5月1日 ~ 2028年4月30日

研究の目的・意義

結節性紅斑の有病率は10万人当たり1~5人といわれており、主に下腿に紅斑・腫脹を伴う皮下硬結を特徴とする。結節性紅斑は病理組織学的に皮下組織の隔壁脂肪織炎(septal panniculitis)と真皮への炎症の波及(dermopanniculitis)をきたす種々の疾患を含む症候名であり、複数の多様な病因によって生じる症状と徴候の複合体である。感染症、ベーチェット病、サルコイドーシス、炎症性腸疾患、薬物などに関連して発症し、関連する因子の相対頻度は、人種や研究によって異なる。原因不明の結節性紅斑は治療が長期にわたることが多く、当院で経験した過去20年間の結節性紅斑の原因疾患や臨床所見を明らかにすることで、早期診断や根本的治療につながり、治療期間が短縮されることが予想されます。

研究対象となる方

2004年1月1日から2023年12月31日までに当院皮膚科を受診し、結節性紅斑と診断された患者さんが対象です。

研究の方法

2004年から2023年までの20年間に当科で経験した結節性紅斑患者について、1.年齢、性別、2.血液検査(WBC, CRP, 好中球)、3.発症部位、4.原因疾患、5.治療法、治療期間についてデータ収集を行い、10年間ごとにわけて比較検討する。

試料・情報の利用を開始する予定日

2024年6月1日

研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学皮膚科学講座であり、研究責任者は皮膚科学講座 山本俊幸です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学皮膚科学講座で利用し解析を行います。

他の機関などへの試料・情報の提供について

なし

この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部皮膚学講座 担当：山本俊幸

電話：024-547-1309 FAX：024-547-1309

e-mail：dermatol@fmu.ac.jp